



平成27年9月17日

Bio Japan 2015 で創薬・医療・医用工学の最先端シーズ発信

岡山大学は10月14～16日、アジア最大級のバイオパートナーリングイベント「Bio Japan 2015 - World Business Forum -」に出展します。

創薬・医療・医用工学における最先端の研究成果や活動として、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌やバンコマイシン耐性腸球菌に対する強い抗菌作用をもった一剤二役の医薬候補物質（薬学）、敗血症患者の重症度や予後を精度よく判定できる新しいバイオマーカー（麻酔・蘇生学）、がん治療法開発に使われるマウス腫瘍モデル、iPS細胞から作成したがん幹細胞モデル（ともに生命医用工学）、2型糖尿病治療薬であるメトホルミンを用いたがん免疫治療法、創薬・医薬品開発を支援する分子イメージング技術（ともに免疫学）の6件を展示、発表します。

産学連携や知的財産活用につながる研究を中心に、展示会等へ戦略的に出展することにより、本学の研究成果の普及や、技術移転などがさらに促進することを目的としています。

展示会名称：「Bio Japan 2015 World Business Forum」

日時：ブース展示

平成27年10月14日（水）～10月16日（金） 10:00～17:00 （3日間開催）

プレゼンテーション

平成27年10月15日（木） 13:00～15:10

場所：パシフィコ横浜 展示ホールC・D B117ブース

プレゼンテーション：展示ホール内 セミナーA会場

主催：Bio Japan 組織委員会

出展及びプレゼンテーションの題目および発表者（発表順）

◆岡山大学のご紹介

研究推進産学官連携機構／副機構長 教授 尾本 哲朗

◆一“剤”二役の抗菌作用を持つ物質

大学院医歯薬学総合研究科 微生物医薬品開発学分野／准教授 黒田 照夫

◆敗血症患者の新規重症度マーカーとしての Histidine Rich Glycoprotein

大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学分野／教授 森松 博史

◆おかやまメディカルイノベーションセンター（OMIC）と分子イメージング研究の最前線

大学院医歯薬学総合研究科 産学官連携センター おかやまメディカルイノベーション



PRESS RELEASE

ンセンター (OMIC) / 助教 赤星 彰也

◆テラーメイドがん治療のためのマウス腫瘍モデルの開発

大学院自然科学研究科 生命医用工学専攻 / 助教 増田 潤子

◆メトホルミン誘導性の免疫疲弊解除によるがん免疫治療

大学院医歯薬学総合研究科 免疫学分野 / 教授 鵜殿 平一郎

◆iPS細胞から解き明かす「がん幹細胞」とその治療戦略への応用

大学院自然科学研究科 生命医用工学専攻 / 教授 妹尾 昌治

<お問い合わせ>

岡山大学研究推進産学官連携機構

薦田哲男 松田幸子

(電話番号) 086-251-8465

(FAX番号) 086-251-8467